

希望の芽 第4号



命を守る防災学習

池田中学校で震度6強の地震が来たら!?

池田中学校内のいろいろな場所で、震度6強の地震が起こったら何が起こるか、みんなで考えました。

その後、調査したことをまとめ、みんなの前で報告し合いました。



災害についてあまり深く考えたことはなかったし、どこにどんな危険があるか知らなかったので、今回の学習で実際に起きたときに冷静に判断できそうな気がしました。

私たちの班は、調理室で火災が起きている想定で考えたけど、火災が起きなかったときは、最短距離で行ける別の班の方法で避難する方が良いと思いました。



私の頭では思い浮かばないような案がたくさんあって、聞いていて面白く、新しい発見がありました。特に、避難経路で、外からまわるか校舎内をつづるかは、今度改めて話し合いをしたいくらい興味深いものでした。



私は、今日の学習で、一見安全に見える中学校でも危ない場所がたくさんあるのだと改めて感じました。私の班が発表したのは旧校舎の3Fで、普通の校舎と少し構造が違うので、避難経路を確認できて良かったです。

どんなところにいてもまず慌てずに周りの状況を落ち着いて見ることが大切だということを学びました。どのルートを通ったらいいかなどを考えて避難したいです。

いつどこで地震が起こるかわからないし、もし起きたらどのような対応をしたらいいのかもわからないので、こんな学習ができてよかったです。



今日の学習で、防災の答えは1つだけではないことに気づきました。僕の班と同じ技術室のことを発表した班でも避難のしかたに違いがありました。そのことから、地震の時には臨機応変に行動することが大切かなと思いました。



同じ所を発表した所でも、班によって全く違った意見や理由などで納得させられることがあった。内を通過して移動するか？外を通過して移動するか？など発表を聞いていて疑問に思うことなどもあった。

どの場所でもガラスが割れたり、飛び散ったりすることがわかりました。もし学校や家、出先で地震になったら一人の人間として率先して動けるような人になりたいです。地震は仕方のないことですが、どう生き延び、対策するのかを考えたいです。

今日の収穫は状況を見て判断するということです。理科の実験や料理をしているときに地震が起こったら、実験道具や調理器具が落ちて、飛んでくることもあると思うので考えないといけないと思いました。放送も使えるかどうかわからないので、そこも状況判断が必要だと思いました。



校外学習 ~震災の語りべさんに学ぶ~ ~イングランドの丘でのひととき~

「自分たちが校内で考えたことは、実際の地震では通用するのだろうか？」
そんな問いを持ちながら、北淡震災記念公園へ校外学習に行きました。語りべさんのお話や、見学・体験を通して、自分なりの答えを見つけることができました。午後からはイングランドの丘で思いっきり自由時間を楽しんでいました。

語りべさんの話が心に残りました。もし自分がとじ込められたら周りも見れなかったと思うし、逆に自分の家族がとじ込められたとき、人のために家に帰れるかと考えると自信がありません。たとえ地震の知識がなくても、人を思いやる心があれば、助かる可能性は高まるんだと思いました。

今日は、災害の怖さをしっかりと知ることができました。語りべさんの話は、とてもリアルで、写真でも様子がよく分かって怖かったです。実際に体験したら、本当に怖くてきっとパニックになってしまうだろうと思いました。でもそんなときにもしっかりと判断ができるようにしておきたいです。

地震の怖さを改めて知りました。この三好市は海がないのでまあ大丈夫だと思っていたけど、話を聞くと、家が土の中にうまってしまうなど、怖いことがあることを知りました。地震はなくすることはできないけど、減災していけるように努力していきたいです。

実際にあったことを直に聞いたり見たりしたので、より地震を身近に感じました。断層は思った以上にずれていて、地震のエネルギーの大きさを感じました。また、講演を聞いて改めて防災について家や学校で考えていきたいなと思いました。

防災についてよく知ることができました。揺れ体験では、みんなキャーキャー言っていました。実際に起きると声もだせないくらいに怖かったり、動けないのかもしれない、と考えるとすごく怖いです。この防災学習を終え、南海地震に気をつけることは大切だと知りました。

最近集団行動などをしてなかったから少しだけ不安もあったけど、とても楽しかったし、いい思い出になりました。イングランドの丘ではもう少し良かったけど、それ以上に地震について多くのことを学びました。

ゆれ体験では、僕はソファに座ったけど、固定されていたからあまりゆれを感じなかったです。でも、固定されていなかったら、めちゃくちゃゆれていて、ソファがたおれたりするかもしれないと思いました。

地震に関しての怖さがすごく伝わってきました。ほんの数秒の揺れで自分の大切なものが一瞬にして奪われてしまうことを知り、本当に恐怖でしかありませんでした。自分のいつも見ている町が別の風景に見えてしまうほどの大変な状態でも、状況に応じて判断し、冷静に行動することが必要だとわかりました。

向井さんのお話で地震の怖さについて知ることができました。淡路島では地震がほとんどなく、向井さんもそれまで地震については全く知らなかったと言っていて驚きました。イングランドの丘では乗り物などでたくさん遊んで、コアラやアイスを食べるのをすっかり忘れるほどでした。ずっと記憶に残る最高の思い出になりました。

